

4:12 神のことは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄を分けるまでに刺し貫き、心の思いやはかりごとを見分けることができます。

4:13 神の御前にあらわでない被造物はありません。神の目にはすべてが裸であり、さらけ出されています。この神に対して、私たちは申し開きをするのです。

4:14 さて、私たちには、もろもろの天を通られた、神の子イエスという偉大な大祭司がおられるのですから、信仰の告白を堅く保つてではありませんか。

4:15 私たちの大祭司は、私たちの弱さに同情できない方ではありません。罪は犯しませんが、すべての点において、私たちと同じように試みにあわれたのです。

4:16 ですから私たちは、あわれみを受け、また恵みをいただいて、折にかなった助けを受けるために、大胆に恵みの御座に近づこうではありませんか。

神のことは偉大な力をどれほど分っているでしょうか。私たちの心の奥底まで見抜き、そして変える力を持っています。神のことはの前に、神の權威を認めてひれ伏しましょう。へりくだって従いましょう。

その權威とはあわれみ深い、そして優しく愛に満ちた權威です。私たちの優れているところをほめてくださるだけでなく、弱さにも寄り沿って「同情」してくださるのです。

いついかなる時も、この主に近づくようにしましょう。この全能にして愛の主と心の交わりをしなければ、本当の人生は送れません。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

